

令和 5 年 7 月 3 日  
社会教育実践研究センター

## 社会教育実践研究センターにおける社会教育主事講習について

### 1. 現状

区分	受講者数 (申込者数)	生涯学習 概論	社会教育 経営論(※1)	生涯学習 支援論(※2)	社会教育 演習
令和元年度[A]	56 (57)	集 合	集 合	集 合	集 合
〃 [B]	216 (225)	〃	〃	〃	〃
令和2年度[A]	63 (104)	集 合	集 合	集 合	集 合
〃 [B]	245 (329)	ライブ配信	ライブ配信	ライブ配信/集合	〃
令和3年度[A]	138 (184)	ライブ配信	ライブ配信	ライブ配信/集合	集 合
〃 [B]	419 (540)	〃	〃	〃	〃
令和4年度[A]	151 (288)	eラーニング	eラーニング	集 合	集 合
〃 [B]	523 (567)	〃	〃	〃	〃
令和5年度[A]	80 (260)	eラーニング	eラーニング	集 合(※3)	集 合(※4)
〃 [B]	- (-)	〃	〃	集 合	集 合

※1 令和元年度では、社会教育経営論の科目は「社会教育計画」で実施。

※2 令和元年度では、生涯学習支援論の科目は「社会教育特講」で実施。

※3 生涯学習支援論を受講する一部の受講生には、オンライン形式で実施。

※4 社会教育演習を受講する一部の受講生には、オンライン形式で実施。

### 2. 課題

- ・ライブ配信形式(オンライン形式)に移行したことにより、受講環境を確認することが難しく、講義に集中できていない様子が見受けられることから、講習に集中できる仕組み(レポートや小テスト)の実施による講習実施に際し工夫することが必要である。
- ・講習期間中はデジタル化対応が可能であるが、講習前の受講申込み・講習後の修了手続き業務がデジタル化に対応できていない。特に受講申込みに係る審査業務は実施機関だけでなく、各都道府県も審査しているため、申込み手続きも含めたデジタル化(効率化)が必要である。
- ・主事講習実施機関の講習内容は多種多様であり、特色ある講習が各実施機関で実施されていることであるが、主事講習の講義内容の底上げを図るためにも主事講習実施機関同士の連携(情報共有・複数大学での講習実施)の体制を構築する必要がある。

### 3. 受講生の声

- ・生涯学習概論と社会教育経営論を e ラーニングで受講し、講義を繰り返し視聴することができたため、基本的なことを理解することができた。(R4[B]:宮崎県)
- ・集合研修では、北海道から鹿児島までの全国各地の受講生が参加し、今後も受講生同士のつながりが続くことを楽しみにしている。(R4[A]:山口県)